

第3回 地域づくり部会 会議概要

日 時	令和3年6月24日(木) 午後3時06分～午後4時01分
会 場	北地区コミュニティセンター 大ホール
出席委員	神田委員、五十嵐委員、本間委員、阿部委員、鶴巻委員、横山委員 皆川(英)委員、中嶋委員、佐久間委員、皆川(靖)委員
欠席委員	清水委員
事務局 関係課	落合建設課長、古寺北出張所長、 地域総務課(中川補佐、神田副主査、伊藤主査)
会議要旨	<p>1 令和3年度自治協議会提案事業「めざせ防災力向上！」について 第2回で方向性の決まった「北区ぼうさいフェス!!(仮)実施計画案」について委員で意見交換を行い、アイデアを出し合った。</p> <p>[主な意見等] (実施会場について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化会館を全部使ってできないか。人数上限はどのくらいか。 <p>→人数については最大で500人だが、現在の基準では半数の250人。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化会館を回遊することでこどもに遊び感覚で学んでほしい。 ・競馬場で出来たら良い。土日に実施できないため、日は祝日などに限られるが、キテ・ミテ・キタクの時に実施したときはとても良かった。 <p>(実施内容について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験としてVRを使用して溺れる体験などの危険体験ができると面白い。 ・学校の防災訓練ではやらない、できないことが良い。水消火器での的当てなど。 ・腕の吊り方で三角巾でなくもっと身近なものでできないか。 ・火を使わないサバイバルクッキング ・子どもでも一人の時に被災する可能性があるため自助をテーマにしたい。 ・ジャッキアップゲームはためになる。 ・短時間でいろいろ回ることのできるブースを作り、スタンプラリーができると良い。 ・段ボールやテントなど様々な災害用トイレの体験。 ・サバイバルクッキングで、子どもでもできるメニューのレシピ動画を流し、レシピを置いておき、家で作ってもらう。 ・防災トランプの紹介。 ・パッククッキングのDVDを食推で作成しているので活用してほしい。 ・どうやって非難するかなどをテーマにしたクロスゲーム ・起震体験車などの体験車を呼びたい。 ・スタンプラリーで企業などの協賛を得て景品をあげたい。 ・テーマとしている子どもの目線は大事にしたい。 <p>⇒次回は集約した意見をもとに内容などを決定することとした。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

第 3 回 福祉教育部会 会議概要

日 時	令和 3 年 6 月 24 日 (木) 午後 3 時 5 分～午後 4 時
会 場	北地区コミュニティセンター 講座室 2
出席委員	神田(恭)委員、清水(博)委員、有田委員、斉藤委員、藤沢委員、本間(啓)委員、遠藤委員 7 人
欠席委員	樺山委員、藤原委員、山田委員、3 人
事 務 局	東理課長(地域総務課)、高山課長(健康福祉課)、寺崎館長(豊栄地区公民館)、小林教育支援センター長、佐藤・深沢(地域総務課)
会議要旨	<p>1. 令和 3 年度自治協議会提案事業「あったか言葉っていいね」について</p> <p>事務局から資料に基づき説明があったあと、全体で検討し、下記事項を決定しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 募集内容 <ul style="list-style-type: none"> ▽家族や友だち、周りの人にあなたが伝えたい温かな気持ちを表す言葉 ▽あなたが家族や、友だち、周りの人から言われると心が温かくなる言葉 ▽お互いに支え合い助け合う時にさりげなくかけたい言葉を標語形式で募集。言葉を選んだ背景やシチュエーションなども書いてもらう。 ・ 対象 だれでも(北区在住、在勤、在学) ・ 募集期間 令和 3 年 8 月 1 日～9 月 30 日 ・ 周知方法 北区役所だより 8 月第 1 週号と 9 月第 1 週号。チラシを作成し区内小中学校を通して配布、または公共施設に設置、委員の各団体を通して周知 <p>チラシは事務局でたたき台を作成し委員に確認してもらう。 次回以降で作品数、賞名などについて検討していく。</p> <p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 形を決めた方が応募しやすい。 ・ 部門を分けるとなると年齢などの区分は。

	<ul style="list-style-type: none">・部門は分けなくてもいいと思う。親子で考えてもらおうと、ふれあいのきっかけにもなる。・「なぜこの言葉にしたか」の理由を書いてもらおうと審査しやすい。・コミュニティ協議会では地元の児童からポスターを募集している。審査員は保護者と役員。かなり応募がある。・学校配布のタブレットを利用して応募することについては、各家庭のWi-Fi環境があるかないかにより使えない家庭もある。紙のチラシに二次元コードを印刷して配布したほうが良い。募集方法はFAX、メール、インターネット、紙でなど複数設ける。・言葉に優劣をつけられないので、「最優秀賞」の名称は使わない方が良い。
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第3回 自然文化部会 会議概要

日時	令和3年6月24日（木曜） 午後3時10分～午後4時20分
会場	北地区コミュニティセンター
出席委員	伊藤部会長、渡邊副部会長、小日向委員、前田委員、山賀委員、本田委員、平松委員
欠席委員	大島委員、柳委員
事務局 関係課	産業振興課（山際課長、村山係長）、区民生活課（高橋課長、長谷川係長）、地域総務課（長谷川課長補佐、伊藤副主査）
会議要旨	<p>1. 令和3年度自治協（自然文化部会）提案事業について</p> <p>①事前に各委員から提出してもらっていた案をもとに意見交換を行った。今年度は北区の魅力発掘フォトコンテストを開催し、応募作品をPRに活用していくこととした。 （案：歴史研修・カレンダー作成・PR動画・フォトコンテスト・PR動画配布工夫や広報・魅力発信担い手要請・ツアー・海辺の森PR・水辺憩いの場整備・潟のイベント協力・シンポジウム）</p> <p><委員からの意見など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島潟では既にフォトコンテストが行われているので、福島潟以外の北区全体の隠れた魅力を発掘してもらえるようテーマの設定などに工夫が必要（自然・文化など） ・幅広い世代の人に参加してもらえるようにしたい。部門を別けたり、賞の選定を投票式にしたりするなど、多くの人に参加できるようにしてはどうか ・フォトコンテストを開催して終わりではなく、集まった作品でカレンダーを作成するなど、さらなるPRにつなげていくべき <p>②豊栄高校と連携して制作している福島潟魅力PR動画について、次回の部会で進捗状況を確認し、活用方法等を検討する。</p> <p>2. 次回部会までの作業</p> <p>事務局がフォトコンテスト実施要領(案)を作成することとした。次回部会では、事務局案をもとに事業名、テーマ、募集対象者、実施方法、審査員、賞品のほか、応募のあった作品の活用方法などを決めることとした。</p>